

## 経済生活設計表作成手順

経済生活設計表は「経済生活に関する計画や出来事」と「収支計画」の二つの表で構成されています。これよりその作成手順を順に説明します。

- ① 暦年、本人、家族の年齢の記入  
設計表の右上に作成日、名前を記入します。  
設計表の年の欄に暦年を記入します。本人、家族の名前をカッコ内に記入後、誕生日以降の満年齢を順次記入します。
- ② 経済生活に関する「計画や出来事」の記入  
計画や予想される出来事を洗い出し、その「収入」「支出」の見積の金額を「計画や出来事(計画や出来事に伴う収入金額・支出金額)」欄にそれぞれ記入します。  
金額は、将来おきる出来事でも、現在の金額で見積もります。  
計画や出来事による収入・支出を「収支計画」に反映させます。

### 出来事例

住宅の取得・リフォーム、転居、退職(退職金の受給)、再就職、独立自営、年金受給、大型家電・家具等の購入、自動車の購入(買い替え)、冠婚葬祭、子どもの教育・就職・結婚・出産、旅行(海外・国内)、親の介護 など

- ③ 経済生活設計表の「収支計画」の記入  
収入欄・支出欄の本年度分と現在の貯蓄額を入力します。  
②で作成した「計画や出来事」にもとづき、将来にわたる収入、支出の額を記入し、それぞれの小計を計算します。  
設計表の各年ごとに「収入」-「支出」を計算し、「収支の差額」に記入します。  
マイナスになった場合は「▲」をつけてください。

### 収入の例

仕事による収入	世帯全員の給与、賞与、パート収入などの総収入(税込・天引き前の支給額)
年金による収入	公的年金の推定額、個人年金などの受取見込額
一時的な収入	退職金、土地売却代金など
財産運用収入	預貯金、保険などの利子、配当、満期金、不動産賃料など

### 支出の例

日常生活費	消費支出(次項以下を除く)
税金・社会保険料	所得税・住民税・自動車税・共済掛金など
掛金(生保・損保)	主として掛け捨ての保険など
借入金の返済額	住宅ローン、教育ローンなど
教育費・結婚の援助費用	子どもの学用品・塾費用も含む
住宅関連費	家賃・地代・住宅取得・固定資産税・補修・増改築
大型出費	車の買替、家具・大型電気製品等の購入
余暇活動費	レジャー、趣味などの費用
預貯金の積立	貯蓄等の積立額(年額)の合計額

- ④ 貯蓄累計額の計算  
「現在の貯蓄額」を調べて記入します。  
初年度の貯蓄累計額  
「預貯金の積立額」+「収支の差額」+「現在の貯蓄額」を計算し、設計表の「貯蓄累計額」に記入します。  
次年度以降の貯蓄累計額  
「前年の貯蓄累計額」+「当年の預貯金の積立額」+「当年の収支の差額」で計算します。

